

環境教育委員会所管事項調査報告書

期 日	令和5年5月10日（水）
訪問先	岐阜県 瑞浪市
出席者	寺岡 まゆみ 委員長、三橋 文男 副委員長、高田 浩 委員、 望月 真実 委員、渡辺 貞雄 委員、新井 啓司 委員
随行者	富塚 副主幹
調査項目	スーパーエコスクールについて
調査内容	<p>公共施設における省エネルギー化の在り方や環境教育の取組について参考とするため、視察を行った。瑞浪市立瑞浪北中学校は、文部科学省のスーパーエコスクール実証事業の認証を受け、中学校3校が統合して、新たに2019年4月に開校した。2019年9月からの1年間で、建物のエネルギー消費量が実質ゼロとなり、全国の小中学校施設として初めてZEB^{ゼロ}を達成している。校舎内には、高窓を配置した自然換気、地下の冷たい空気を循環させるクールヒートトレンチ、太陽光発電、風力発電といった環境配慮のしくみがあり、生徒たちが自身の手で、省エネルギーな環境をつくり、環境について学ぶことを目指すための設備がある。あえて、全自動化せず、エコモニターから環境的な情報を得て、生徒自身が考え、教室環境をコントロールすることでゼロエネルギーを達成するという試みである。毎年、全校生徒に向けた設備の取扱説明会を実施しており、生徒が環境問題に関心を持つきっかけとなっている。</p> <p>事業概要の聞き取りを行った後、視察会場となった瑞浪北中学校について、現地調査を行った。</p>
主な質疑	<p>Q スーパーエコスクール整備の経緯は。 A 統合を進めるに当たっては、地元の理解を得るのに大変な苦労があったが、地域から「新しい学校をつくるのなら、日本一の学校を」との声があがり、模索した結果、当時、文部科学省が実施していた「スーパーエコスクール実証事業」の採択を得た。</p> <p>Q 生徒の手による省エネの実現の事例は。 A 普通教室に設置された「エコモニター」から、学校全体の環境情報や室内の温度・湿度、二酸化炭素濃度などを見て、生徒自身が手動で操作をする。各クラス的环境委員を中心に対応している。</p> <p>Q 自動開閉の高窓などの維持管理状況は。 A 今まで高窓の故障はないが、他の学校と違い、色々な場所に配置されているエコモニターなどの情報通信機器類については、エラーや不具合が生じることがあり、メンテナンスが発生している。</p>

環境教育委員会所管事項調査報告書

期 日	令和5年5月11日(木)
訪問先	愛知県 岡崎市
出席者	寺岡 まゆみ 委員長、三橋 文男 副委員長、高田 浩 委員、 望月 真実 委員、渡辺 貞雄 委員、新井 啓司 委員
随行者	富塚 副主幹
調査項目	校内フリースクールについて
調査内容	<p>令和2年度から始まった校内フリースクールは、生徒の多様性への対応による不登校の未然防止、生徒の自己肯定感や自尊感情の向上、個の学習状況に応じた指導や配慮の充実化を図る中で、一部の学校では長期欠席者が減少傾向にあるなど確かな手応えがあったことから、今年、市内の全中学校に配置された。F組と名付けた校内フリースクールは1つのクラスとして認識しているという意味を込めている。不登校の生徒にとって大事なことは生活習慣を整えることであり、まずは学校に来てエネルギーを使い、そして帰るということ。また、自己肯定感やコミュニケーション能力が育まれ、生徒自身の心のエネルギーが貯まっていくことで、次のステップへ繋げるといったことがこの校内フリースクールの構想となっている。通常学級を目指す生徒もいるが、最終的には次のキャリアステージにしっかりステップアップしていく社会的な自立を目標としている。</p> <p>事業概要の聞き取りと、視察会場となった矢作中学校校内フリースクールについて、現地調査を行った。</p>
主な質疑	<p>Q 全校への人材の配置が大変だと思うが状況は。</p> <p>A 支援員は、週5日、1日5時間の会計年度任用職員として採用している。本事業のスタート当初は教員OBの配置だったが、今年度から一般の方も採用しており、それぞれの視点から生徒に寄り添って対応いただいている。また、校内フリースクールがスタートしてから、通常学級の教職員も、休み時間などにF組に出向き、生徒の成長に自主的に関わってくれている状況がある。</p> <p>Q 校内フリースクールの実施から約3年が経過したが、メリット等感じているか。</p> <p>A 現場の支援員の意見としては、はるかにメリットが大きいと感じている。このF組があることで、どれほどの子どもが救われたか。また、子ども以上に、親がどれほどの安心感をもったか、という点でもメリットしか感じない。不登校生徒にとっては学校に戻るということはとても大変なことであり、フリースクールが校内にあるということは、子どもやその親にとって、学校に来ているという安心感を与えている。</p>